

# 南薩地域でサシバエ防除実証試験に取り組みました！

(令和2年度ポストコロナ農業生産体制革新プログラム事業)

## 【サシバエ防除実証試験について】

サシバエは肉用牛・乳用牛に対して吸血による直接的被害や、感染症媒介による間接的被害を与えることが知られています。そこで、鹿児島県の「ポストコロナ農業生産体制革新プログラム事業」を活用し、サシバエ捕獲用粘着剤の選定とサシバエ防除実証試験に取り組みました。

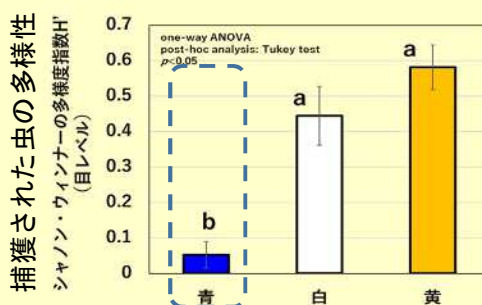
## 【①サシバエ捕獲用粘着剤の選定】

青色の粘着板トラップが、サシバエの捕獲数が最も多く、かつ、他の虫が捕獲されにくい粘着剤であることが分かりました。事業では市販品の中から、**青色**、**安価**、**大面積**の観点から最適な資材を選定し、サシバエの捕獲に使用しました。

●青・白・黄の粘着板は  
サシバエ捕獲力が高い



●白・黄の粘着板は  
他の虫まで捕獲されてしまう



## 【②サシバエ防除実証試験】

川辺・知覧・頰娃・枕崎の合計13農場を以下の試験区に分け、①の試験で選定した資材を使用して令和3年4月から12月まで月1回サシバエ捕獲調査を行いました。

試験区	対策内容	試験農家数
対照区	羽化阻害剤散布	5件 (肉用牛3, 酪農2)
試験区1	羽化阻害剤散布 + 防虫ネット	5件 (肉用牛1, 酪農4)
試験区2	羽化阻害剤散布 + 忌避剤 + 粘着剤	3件 (肉用牛2, 酪農1)

下図ではサシバエの捕獲数は試験区ごとに異なるように見えますが、試験区間で統計的な差は見られませんでした。各対策で防除効果に差が見られなかったことから、**羽化阻害剤による対策徹底が重要**と考えられます。



盛夏をはさんで春と秋に  
サシバエが増える傾向

12月でもサシバエは  
活動している

実証農家への聞き取り調査では、今回の対策で、生産性が向上したとの声も聞かれました。サシバエ対策を実践し、生産性の向上に取り組みましょう。

今回のサシバエ防除実証試験に係る問合せ先 (TEL)

南さつま農業協同組合 : 0993-58-7115 鹿児島県酪農業協同組合 : 099-255-3186

鹿児島県南薩地域振興局農政普及課 : 0993-52-1345

# サシバエ防除実証試験の方法

## ①羽化阻害剤の散布方法

- ・羽化阻害剤はサシバエが蛹から羽化して成虫になることを抑制します。
- ・羽化阻害剤を粉末20g/m<sup>2</sup>又は20ml/L等の条件でサシバエが産卵する堆肥舎等に散布しました。



牛が糞を蹴り出す牛舎周りへの散布も効果的です。

## ②防虫ネットの取付

- ・2mm x 4mm穴の防虫ネットを牛舎に取り付けました。
- 左の写真の例のように軒から地面部分まで設置するとサシバエの侵入防止に効果的です。
- ・今回の実証試験では、羽化阻害剤単独と比較して、農場内のサシバエ発生状況に統計的な差はありませんでしたが、牛舎内へのサシバエ侵入を防ぐ上では効果的であると考えられます。

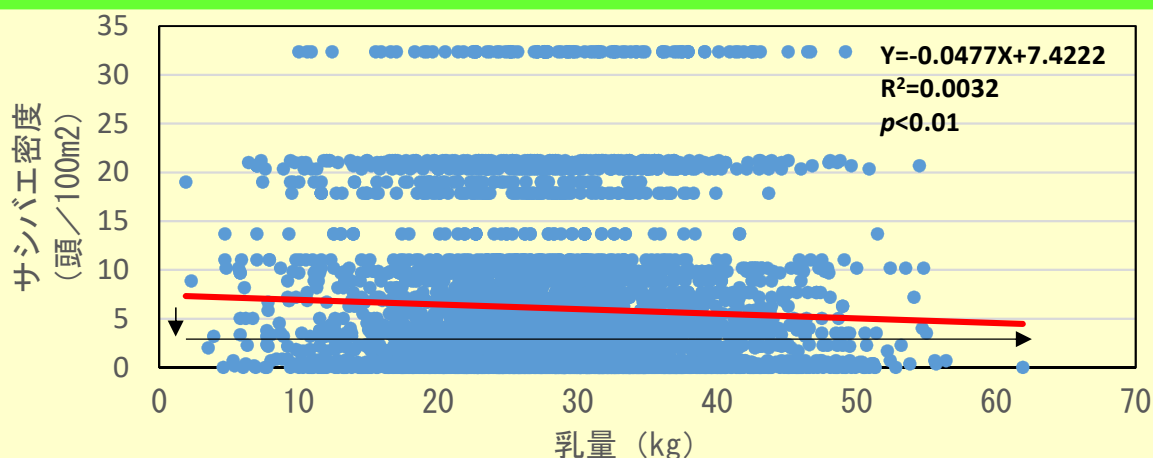


## ③忌避剤及び粘着剤（プッシュ&プル方式）

- ・忌避剤の散布  
市販のサシバエ忌避剤（植物由来成分配合）を200倍～300倍程度に希釈し、動力噴霧器や細霧装置を用いて、牛体へ噴霧しました。
- ・粘着剤の設置（2週間毎に交換）  
写真のような青色の粘着剤を牛舎に取り付け、忌避剤によって牛体から離れたサシバエを捕獲しました。



# サシバエの発生と生産性の関係について



サシバエ密度：本事業の粘着板トラップのデータ

乳量：サシバエ密度調査を実施した7農場の個体検定日成績を参照

**ハエ密度が下がると乳量は増加する傾向**

(直線の傾きが緩やか→少しでもサシバエ密度が下がれば、大きな乳量改善が期待できる)